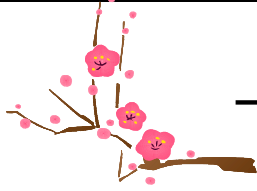




山王小だより

狭山市立山王小学校
児童数 434名
平成28年 1月 8日 No.10

開校40周年 子供の笑顔・元気・夢をはぐくむ山王笑楽校



「お元気三猿」に習おう — よく見て よく聞き よく話す —

校長 佐藤 潤

新年明けましておめでとうございます

今年申年です。申年には「去る」という音にかけて、「悪いことが去る」や「病が去る」など、『いいことや幸せがやってくる年』とする言い伝えがあるそうです。ぜひ、山王小学校に通う子供たちにもたくさんのよいことが起きる年になることを願ってやみません。

さて猿といえば、6年生が修学旅行で行った日光東照宮の彫刻が頭に浮かびます。目をふさぎ、耳をふさぎ、口をふさぐ、「見ざる・聞かざる・言わざる」の三猿です。これには、「汚れたものや醜いものは見ないようにしよう、悪いことは聞かないようにしよう、人の悪口や陰口は言わないようにしよう」という戒めが込められているようで、人の在り方として、なるほどなと思うところがあります。

一方で日光のとは真逆の三猿が埼玉県秩父市にある秩父神社の社殿に彫られていると聞き、初詣を兼ねて出かけてまいりました。この秩父神社も徳川家ゆかりの神社とのことで社殿には、東照宮の「眠り猫」の作者とされる左甚五郎の彫刻もあります。立派な彫刻を眺めながら社殿の左側に回るとその猿たちはいました。見ると、かっと大きく目を見開いた猿・口を大きく開いた猿・大きな耳を立てている猿が愛嬌よく寄り添っておりまして。



いつまでも「よく見て・よく聞いて・よく話そう」という願いが込められており、地元では、「お元気三猿」として親しまれているとのことです。

高度情報化社会とされる今日、子供たちには特に秩父の三猿に習って力をつけてほしいものだと願い、参拝してまいりました。

そして本日三学期の始業式では次のことを話しました。

- 1 ものごとを注意深くよく見ましょう。
- 2 自分の気づきや考えを、積極的に発言していろいろな人に聞いてもらいましょう。
- 3 先生や友達の話、お家の方のお話、よく耳を傾けましょう。

学年のまとめとなる3学期。あらためてこの3つのことを大切に指導してまいります。

本年も保護者の皆さま、地域の皆さまの変わらぬご支援とご協力をたまわりますようお願いいたします。